

納音占い「桑柘木(そうしゃくもく)」です。

十干十二支では壬子（みずのえね）・癸丑（みずのとうし）です。

桑（そう）、柘（しゃ）ともに桑（くわ）と読みます。

桑柘木は、蚕を育てる桑の木を意味します。

桑の葉は絹糸をとるカイコのエサとなり、カイコを養う神木として崇められました。また、幹は、家具の材料、根や皮は消炎や利尿の薬として使われるなど、人々の役に立ってきました。

そのように人々の役に立つ、縁の下の力持ち的な心強い存在です。

辛抱強く、忍耐力に優れ、物事に屈しない精神を持っています。

自分が納得してから進むタイプなので、逆に、思いつきで行動すると、失敗しやすいので注意が必要です。

苦勞するほど、晩年になって運気が上昇する人です。